

[鉄工業：八戸地区]

<鉄骨工事>

八戸市内鉄工業者（8社）における鉄骨工事の新規受注状況は、病院改築工事のほかはアンカーフレーム製作など小口工事中心の受注で、受注件数が少なかったこともあり、新規受注高は前年同月比 27.9%減と3カ月ぶりに前年実績を下回った。受注残高は、前年同月比 32.8%減と前年の大型工事完工もあり、7カ月連続で前年を下回っている。工事の引き合いは去年に比べ少なく、地区外へ出掛けようとする業者も見受けられる。

<製缶工事>

製缶工事の新規受注状況は、大手出先工場のメンテナンス工事や工場の定期修繕工事のほか、官公需関連工事でポンプ修繕工事、コンベア更新工事、機器点検整備などの受注がみられたが、新規受注高は同 67.8%減と8カ月ぶりに前年実績を下回った。受注残高も、同 7.2%減と昨年5月以来の前年割れとなった。8月は、新規受注高、受注残高ともに久しぶりの前年割れとなったが、例年秋以降官公需関連工事の発注が増える時期であることから、各業者今後の受注に期待を寄せている。

八戸市内鉄工業者8社の実績

(単位：百万円、%)

	新規受注高	前年同月比	年度累計 前年同月比	受注残高	前年同月比
鉄骨	199	△27.9	24.3	1,335	△32.8
製缶	96	△67.8	25.9	753	△7.2
合計	306	△48.2	24.5	2,098	△25.5

注：合計欄には鉄骨・製缶以外のものも含む。

※年度累計は2019年4月から

